



第18期報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

サクサ ホールディングス 株式会社

証券コード 6675

株 主 各 位

2021年6月29日

東京都港区白金一丁目17番3号NBF プラチナタワー
サクサ ホールディングス株式会社
代表取締役社長 丸井 武士

第18回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、本日開催の当社第18回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報 告 事 項	1. 第18期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件	第4号議案	監査役2名選任の件 本件は、原案どおり新たに和田聡および高口洋士の両氏が選任され、就任いたしました。 なお、高口洋士氏は、社外監査役であります。
	2. 第18期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)計算書類報告の件 本件は、上記の内容を報告いたしました。	第5号議案	補欠監査役2名選任の件 本件は、原案どおり山崎勇人および八木亨の両氏が選任されました。 なお、山崎勇人氏は社外監査役清水建成氏の、また、八木亨氏は社外監査役高口洋士氏の、それぞれ補欠監査役であります。
決 議 事 項	第1号議案 剰余金の配当の件 本件は、原案どおり承認可決されました。 (期末配当は、1株につき30円と決定いたしました。)	第6号議案	会計監査人選任の件 本件は、原案どおり新たに東光監査法人が選任され、就任いたしました。
	第2号議案 定款一部変更の件 本件は、原案どおり承認可決されました。		
	第3号議案 取締役3名選任の件 本件は、原案どおり片桐勇一郎氏が再任されたほか、新たに小林俊夫および越野純子の両氏が選任され、就任いたしました。 なお、片桐勇一郎および越野純子の両氏は、社外取締役であります。		

以 上



代表取締役社長 丸井 武士

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復をお祈り申し上げます。また、治療に尽力されている医療従事者の皆様に心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、ここに当社第18期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)における事業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に対し2020年4月に緊急事態宣言が発出され、感染拡大防止に向けて企業活動や消費者の行動が大幅に制限される中、景気が急速に悪化の傾向を辿りました。同宣言解除後は、段階的に経済活動再開に向けた施策により回復の兆しが見られたものの、その後の新規感染の再拡大から、2021年1月に1都2府8県に再び緊急事態宣言が発出されるなど、感染収束時期が見通せない状況が続き、依然として厳しい状況が続いていました。

さらに、2020年10月に発生した旭化成マイクロシステム株式会社の半導体製造工場の火災により、同工場で生産され、当社が生産、販売するキーテレホンシステムなどの製品の一部に使用する電子部品の調達が困難となるなど、部品調達リスクが顕在化しました。

当企業グループが属する国内オフィスの情報通信ネットワーク関連市場(以下「オフィス市場」という。)およびアミューズメント市場環境については、オフィス市場では、多くの企業がテレワークの推進でオフィスでの働き方の見直しが急速に進んだことにより、社外から社内システムにアクセスする機会が高まる一方で、テレワーク環境下でのサイバーセキュリティ攻撃の脅威が急速に増加したことで、ネットワークセキュリティ対策の取組みの必要性も同時に高まりました。

一方、アミューズメント市場では、店舗の休業や時短営業等やそれに伴う投資意欲の冷え込み等店舗の売上減少が続いている状況でした。

このような環境の中で、当企業グループは、「成長事業の成果創出と変革」を基本方針とし、成長事業のさらなる成長の加速と新規事業の創出に向けた変革を推進し、事業規模と事業領域の拡大に向け「成長事業（ネットワーク事業、映像事業）への取組み」、「新規事業の創出」および「既存事業の効率化」ならびに「経営基盤の強化」に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高は、365億6千1百万円（前年同期比27億3千8百万円減少）となりました。成長および新規事業では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴う企業のテレワーク推進に向けた環境整備、情報セキュリティ強化等の需要を満たしたネットワークセキュリティ製品の受注増加はありましたが、前期から提供を開始したOEMオフィスゲートウェイの需要一巡に伴う受注減少により、85億6千万円（前年同期比2億7千9百万円減少）、既存事業では、部品調達リスクが顕在化したことに伴うキーテレホンシステムの買込み需要やEMSの受注増加はありましたが、アミューズメント市場向けの製品および加工受託している部品的大幅受注減少などにより、280億1百万円（前年同期比24億6千万円減少）となりました。

利益面では、売上高は減少したものの、販売機種構成の変動、コロナ禍に伴う活動経費の減少に加え、過年度決算訂正による減価償却費他の減少等により、経常利益が22億6千9百万円（前年同期比0百万円減少）となり、特別損失として過年度決算訂正関連費用等を19億9千4百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は2億1千7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益9億7千4百万円）となりました。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいり所存でございますので、引き続きご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

当企業グループは2021年度から2023年度までの3か年を計画期間とする中期経営計画(2021-2023)「サクサは変わる。」を策定いたしました。

サクサは変わる。

事業戦略
事業を変える。

基盤事業の収益維持
成長事業の収益拡大
アライアンス／M&A戦略

財務戦略
財務を変える。

政策保有株式の原則売却
保有不動産の流動化・収益化
財務レバレッジを効かせる

ガバナンス戦略
ガバナンスを変える。

コーポレートガバナンス改革
グループ企業の再編

企業理念・ビジョン・コーポレートメッセージ 貢献するSDGs



経営目標数値

	中期経営計画			長期目標
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2026年3月期
売上高	315	335	355	400
営業利益	8	10	18	25
ROE	1.8%	3.0%	5.2%	6.5%以上

(単位：億円)

基本方針

1. 基盤事業の収益維持(事業効率化)

基盤事業は、長年当社の「ものづくり」と収益を支えてきた事業です。今後、事業や製品の選択と捨象を進め、コスト削減と効率化により市場シェアの拡大と収益を維持します。

(1) ボタン電話装置事業戦略

業界内における生き残りをかけてM&Aやアライアンスを積極的に行い、価格競争力と使い勝手の良さにより市場シェアを維持拡大します。

(2) アミューズメント事業戦略

当社のアミューズメント事業は、カードリーダーユニット、トランスの製造、基板実装や受託開発等で構成されます。今後は、市場環境変化に合わせた事業の再編および合理化を推進します。

2. 成長事業の収益拡大(積極的な事業投資)

成長事業は、積極投資をし、収益を拡大します。

(1) セキュリティアプライアンス関連機器(UTMやストレージ機器)のプロダクト事業戦略

中堅・中小企業(SMB市場)をメインターゲットと定め、日本市場に要求される高品質で堅牢なハードウェアと充実したサポートにより、競合製品との差別化を図ります。当社がボタン電話装置事業を通じて得意とする中堅・中小企業(SMB市場)への徹底した集中戦略により、中堅・中小企業(SMB市場)のシェアを拡大します。

(2) ソリューション事業戦略

株式会社システム・ケイが展開する、映像、AI、IoT技術を活用したソリューション事業を、M&Aやアライアンスを含む積極投資により拡大し、当社の成長エンジンにします。

Webマーケティングの拡充・強化、システム研究開発、セールスエンジニア等の人材への投資を積極的に行い、顧客ニーズの集積と提案営業活動により収益を拡大します。また、同社に蓄積されたノウハウを基に、マルチベンダーの強みと技術力を活かし、お客様のニーズにマッチングした商材を適切に提供する新たなECシステムを構築します。

(3) SAXA-DXサービスプラットフォーム

お客様のデジタル変革を支援するために「SAXA-DXサービスプラットフォーム」をインフラとして提供し始め、順次展開し、2023年までに完成を目指します。

新たに3つのデジタル革新「次世代情報セキュリティ対策」「次世代ワークスタイル支援」「次世代コミュニケーション活用」により、お客様の課題解決、DXを支援していきます。

【次世代情報セキュリティ対策】

企業を狙うサイバー攻撃の脅威が多様化・巧妙化し、従来のネットワーク境界防御では情報漏洩の脅威を防ぎきれなくなっています。この攻撃に対する防御、PCやサーバーの故障やウイルス感染による企業存続リスク回避を、十分な知識を持つIT担当者が不在でも解決することができます。

【次世代ワークスタイル支援】

生産年齢人口の減少で人手不足が深刻な問題になるなか、人材の確保や維持のためには、多様で柔軟な働き方、ワークライフバランスを重視できる職場環境の提供が求められています。このような環境において、お客様の資産(IT機器のコンディションや従業員の心身)の状況、業務内容の可視化から、新たな気づき、課題を発見し、生産性の高い新しいワークスタイルの実現を支援します。

【次世代コミュニケーション活用】

社内外会議や商談ではITを活用したコミュニケーションが進んでいますが、対面ならば可能な目配せや、表情、しぐさなどのコミュニケーションに必要な情報が、リモートワーク環境で不足しがちになりますので、それらをデジタル技術で補完し、生産性を向上させる組織コミュニケーション環境を提供します。

3. 経営基盤の強化(グループ企業再編・保有資産の圧縮と有効活用・財務レバレッジ・コーポレートガバナンスの強化)

(1) グループ企業再編

① プロダクト事業とソリューション事業の両利き経営

サクサ株式会社の子会社である株式会社システム・ケイを、サクサホールディングス株式会社の子会社とし、ソリューション事業を展開する中核会社に位置付け、M&Aやアライアンス、グループ内のリソースシフトにより事業拡大を図ります。これまで事業中核会社であったサクサ株式会社は、プロダクト事業を展開する中核会社とし、株式会社システム・ケイとのツートップ体制とします。

② プロダクト事業の再編

プロダクト事業の中核会社であるサクサ株式会社のもと、開発機能(サクサシステムエンジニアリング株式会社)・生産機能(サクサテクノ株式会社)・保守、アフターサービス機能(サクサビジネスシステム株式会社)のバリューチェーンを再構築し、それぞれの機能を強化します。

(2) 保有資産の圧縮と有効活用

保有資産を有効活用することで、資本効率の向上に資するとともに、それによって得られる資金を事業の成長投資に振り向けます。

(3) 財務レバレッジ

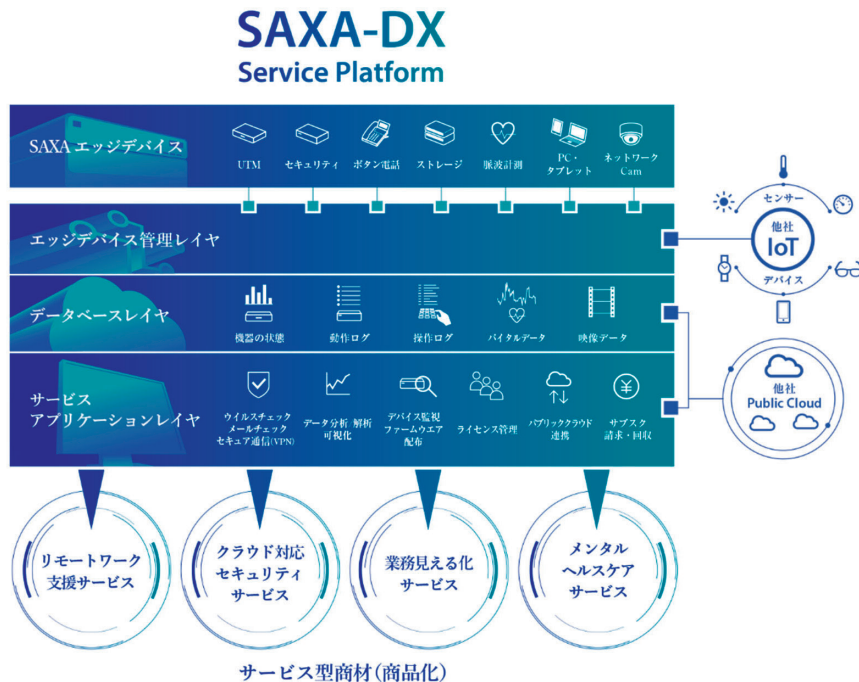
財務レバレッジを効かせて、成長投資や自己資本の適正化を進めます。

(4) コーポレートガバナンスの強化

企業価値を低下させた不正防止に向けた仕組みを早期に構築し、実効性を伴って定着させて、コーポレートガバナンスを再構築することにより、ステークホルダーへの信頼を回復してまいります。

サクサ、新たなサービスを提供する「SAXA-DX サービスプラットフォーム」を構築 ～中堅・中小企業の課題をDX支援で解決～

サクサ株式会社（以下「サクサ」という。）は、ビジネスコミュニケーションを支えるビジネスホン、ネットワークセキュリティ機器の製造、販売ノウハウを活かしながら、新たなサービスを提供する「SAXA-DX サービスプラットフォーム」を構築し、お客様の課題解決を加速させる取組みを開始いたします。



■「SAXA-DX サービスプラットフォーム」概要

企業を取巻く環境の変化により、経済、経営状況が厳しくなるなか、多くの中堅・中小企業が抱えている課題「IT人材不足」「働き方改革」「売上向上」に着目し、サクサは創業以来、お客様のビジネスコミュニケーションを支えるビジネスホン、ネットワークセキュリティ機器を提供してきた実績、ノウハウに加え、新たに3つのデジタル革新「次世代情報セキュリティ対策」「次世代ワークスタイル支援」「次世代コミュニケーション活用」により、お客様の課題解決、DXを支援していきます。

■サービス開始

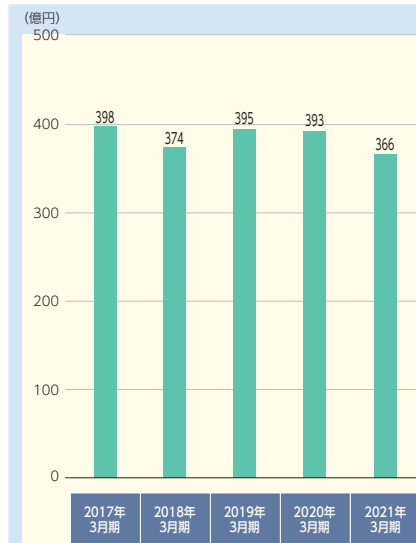
2021年10月上旬から順次サービス開始（予定）

■「SAXA-DX サービスプラットフォーム」

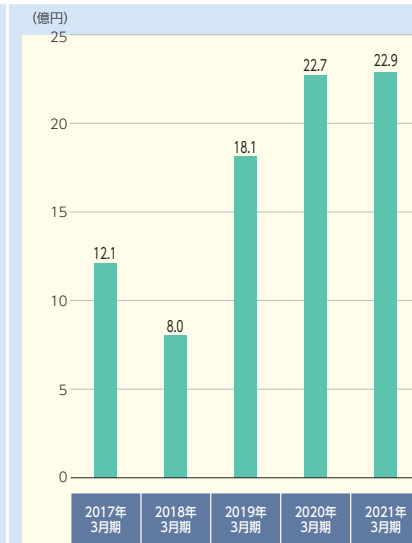
詳細URL <https://www.saxa.co.jp/saxa-dx/>

連結業績ハイライト

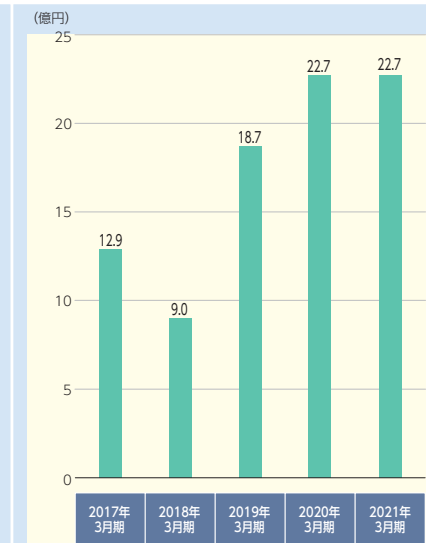
売上高



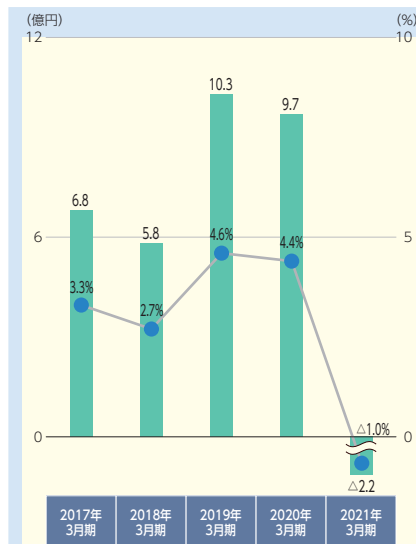
営業利益



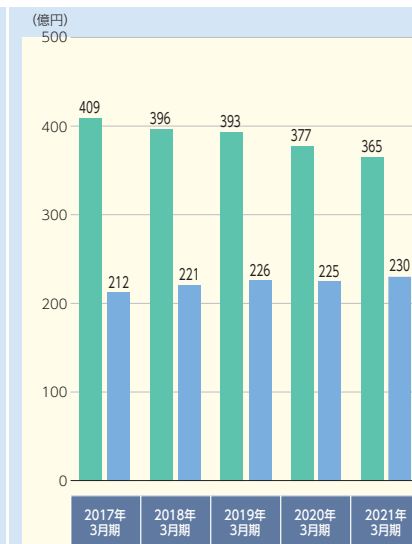
経常利益



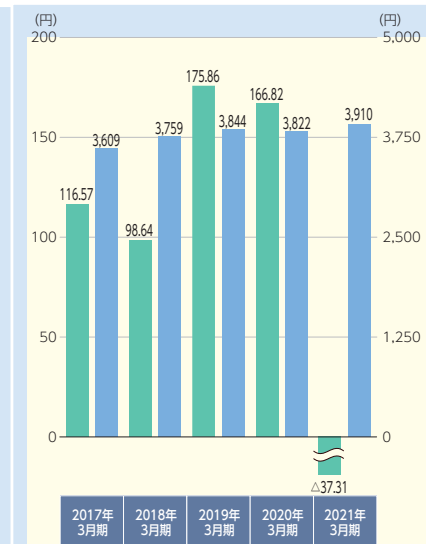
親会社株主に帰属する当期純利益 ● ROE



総資産 ■ 純資産



1株当たり当期純利益 (左目盛) ■ 1株当たり純資産 (右目盛)



※ 2017年10月1日を効力発生日として当社普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。2017年3月期（第14期）の期首に当該併合が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」および「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 連結業績ハイライトの各数値については、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

連結財務諸表(要約)

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 (2020年3月期)	当期末 (2021年3月期)
(資産の部)		
流動資産	23,009	21,523
固定資産	14,665	14,959
有形固定資産	8,088	8,126
無形固定資産	1,552	1,544
投資その他の資産	5,024	5,288
資産合計	37,675	36,483
(負債の部)		
流動負債	9,858	9,200
固定負債	5,298	4,249
負債合計	15,156	13,449
(純資産の部)		
株主資本	22,258	22,039
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,022	6,022
利益剰余金	6,649	6,431
自己株式	△1,250	△1,250
その他の包括利益累計額	62	792
非支配株主持分	199	201
純資産合計	22,519	23,033
負債純資産合計	37,675	36,483

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前期 (2020年3月期)	当期 (2021年3月期)
売上高	39,300	36,561
売上原価	27,768	24,802
売上総利益	11,531	11,759
販売費及び一般管理費	9,259	9,470
営業利益	2,271	2,288
営業外収益	196	210
営業外費用	198	229
経常利益	2,269	2,269
特別利益	208	68
特別損失	1,159	1,994
税金等調整前当期純利益	1,318	343
法人税等	297	548
当期純利益	1,021	△204
非支配株主に帰属する当期純利益	46	13
親会社株主に帰属する当期純利益	974	△217

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前期 (2020年3月期)	当期 (2021年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,172	1,903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△884	△1,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	△829	△679
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	12
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	460	148
現金及び現金同等物の期首残高	7,199	7,659
現金及び現金同等物の期末残高	7,659	7,808

●連結包括利益計算書

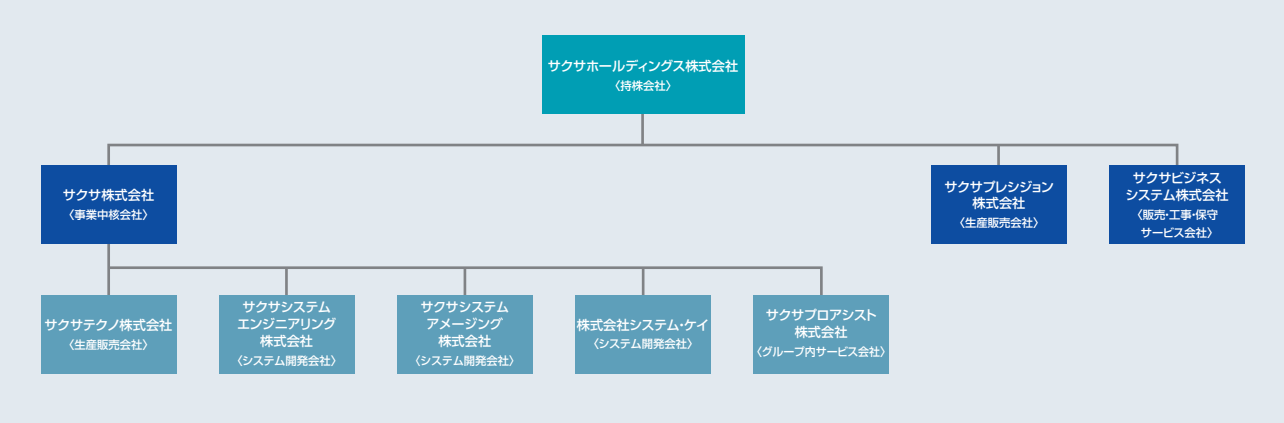
(単位:百万円)

科 目	前期 (2020年3月期)	当期 (2021年3月期)
当期純利益	1,021	△204
その他の包括利益	△812	730
包括利益	208	526

※連結財務諸表の各数値については、表示単位未満を切捨てて表示しております。

グループ会社および当社の概要

● サクサグループ(9社) (2021年4月1日現在)



● サクサ ホールディングス株式会社 (2021年3月31日現在)

設立年月日 2004年2月2日

資本金 10,836,678,400円

従業員数 1,125名(連結)、30名(単独)

本社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー

事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

取締役および監査役 (2021年6月29日現在)

代表取締役社長	丸井 武士	取締役	片桐 勇一郎	監査役	和田 聡 (新任)
取締役	市川 修	取締役	栗林 勉	監査役	清水 建成
取締役	上田 康夫	取締役	越野 純子 (新任)	監査役	高口 洋士 (新任)
取締役	小林 俊夫 (新任)	常勤監査役	嶋中 健		

※1. 片桐勇一郎、栗林勉および越野純子の3氏は、社外取締役であります。また、栗林勉および越野純子の両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

※2. 清水建成および高口洋士の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

株式の状況

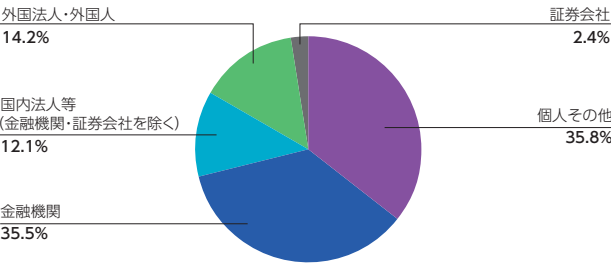
- 発行可能株式総数 24,000,000株
- 発行済株式の総数 6,244,962株
- 株主数 4,593名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	814千株	13.9%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	320千株	5.5%
株式会社グローセル	236千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	233千株	4.0%
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LIMITED - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8028-394841	176千株	3.0%
株式会社三井住友銀行	176千株	3.0%
水元 公仁	169千株	2.9%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	151千株	2.6%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	145千株	2.5%
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	109千株	1.9%

- ※1. 当社は、自己株式404千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式605千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式177千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行」であります。)
- ※5. 持株数については、表示単位未満を切り捨てて表示し、持株比率については、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	https://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部	
電話お問合せ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
	お取引の証券会社等になります。	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 みずほ銀行	本店および全国各支店 本店および全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。	